

広島に相応しいアリーナとは

～広島から日本の新しいエンタメを創る～

2024 **5.23** thu
at Edion Peace Wing Hiroshima

HEBDA
Hiroshima Event Business Development Association

©RyukyuGoldenKings

テーマ：「広島に相応しいアリーナとは」

～広島から日本の新しいエンタメを創る～

全国各地でアリーナが産声をあげているなか、広島が若者や外国人観光客にも選ばれるまちとなるよう、都心での多様な「体験」ができる空間の創出が求められています。多様な価値観が求められる時代の中で、これからの広島に相応しい、そして広島から新しいエンタメを創造していくためには、どのようなアリーナが望ましいのか、観光・エンターテインメント・都市更新・スポーツビジネスといった視点からも考えていきます。

開催日時：2024年5月23日（木曜日）14:00～16:00

開催場所：エディオンピースウイング広島 2階ラウンジ
有料駐車場有り(225台)

参加人数：100名（入場無料・事前申込必要）

基調講演：岡村 耕治（株）OKAMURA DESIGN 代表

パネルディスカッション

ファシリテーター 北野 尚人 広島経済大学 メディアビジネス学部長

コメンテーター 岡村 耕治（株）OKAMURA DESIGN 代表

パネリスト 山邊 昌太郎 広島県観光連盟(HIT) チーフプロデューサー

大山 高志（株）夢番地 制作部長

中村 高士 NTT都市開発(株) 中国支店長

松永 隆 広島経済大学スポーツ経営学科 教授



岡村 耕治 略歴

鹿島建設建築設計本部(1984年～2019年)を経て2019年からOKAMURA DESIGN 代表。琉球ゴールデンキングスや広島東洋カープの施設コンサルタントを務めるとともに、沖縄アリーナの提案・設計、マツダスタジアム原案の企画に携わる。

東北楽天ゴールデンイーグルスがプロ野球参入した際の宮城県営球場のホームスタジアム化・その後の改修や埼玉西武ライオンズの本拠地球場のドーム化・ボールパーク化を提案・設計するなど、プロ球団等利用者の意向や地域の特性を生かした魅力あるスポーツ施設やイベント施設の実現に関わっている。近年は、沖縄アリーナのインテリアを含む建築デザインを担当するとともに、広島東洋カープの施設コンサルタントを継続し、広島駅周辺再開発における未来予想図の作画にも携わる。

参加応募要項

右記のQRコードから参加応募フォームへご記入いただき事前申込を完了させてください。



主催：一般社団法人広島イベント事業振興協会(HEBDA)

後援：経済産業省中国経済産業局、広島県、広島市、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会、広島都心会議、トップス広島